

臨床ストレス栄養学特論

2単位 (選択) 1年 (後期)

臨床ストレス栄養学特論

武田 英二(授業責任者)・教授/人間栄養科学専攻, 竹谷 豊・准教授/人間栄養科学専攻

【授業目的】 ストレスによる生体反応を理解して, ストレス制御機構を学習する.

【授業概要】 ストレスによる病態, ホルモン動態, 炎症反応, 代謝異常, 等を理解して, ストレスを制御する生体反応, 食品, 薬品について教授する.

【授業方法】 [授業方法]

【キーワード】 [キーワード]

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【到達目標】 [目標]

【授業計画】

1. ストレスと生体反応
2. ストレスによる精神神経疾患
3. ストレス制御機能性食品開発とヒトでの評価
4. ストレス評価と精神神経疾患
5. ストレスの評価法
6. ストレスの制御に関わる高次食品機能
7. 栄養素の輸送とストレス制御
8. ストレスによる神経内科疾患
9. ストレス制御薬剤の機能と構造
10. 炎症性腸疾患とストレス
11. ストレス制御と栄養管理
12. ストレス調節とペプチド
13. 高血糖とストレス
14. ストレス誘導性細胞死の病態
15. 酸化ストレスと膜脂質分解

【成績評価】 出席およびレポートで評価する.

【教科書】 [教科書]

【参考書】 [参考資料]

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217658>

【連絡先】

⇒ 武田英二

⇒ 竹谷豊

Target) ストレスによる生体反応を理解して、ストレス制御機構を学習する。

Outline) ストレスによる病態、ホルモン動態、炎症反応、代謝異常、等を理解して、ストレスを制御する生体反応、食品、薬品について教授する。

Manner) [授業方法]

Keyword) [キーワード]

Fundamental Lecture) [先行科目]

Relational Lecture) [関連科目]

Goal) [目標]

Schedule)

1. ストレスと生体反応
2. ストレスによる精神神経疾患
3. ストレス制御機能性食品開発とヒトでの評価
4. ストレス評価と精神神経疾患
5. ストレスの評価法
6. ストレスの制御に関わる高次食品機能
7. 栄養素の輸送とストレス制御
8. ストレスによる神経内科疾患
9. ストレス制御薬剤の機能と構造
10. 炎症性腸疾患とストレス
11. ストレス制御と栄養管理
12. ストレス調節とペプチド
13. 高血糖とストレス
14. ストレス誘導性細胞死の病態
15. 酸化ストレスと膜脂質分解

Evaluation Criteria) 出席およびレポートで評価する。

Textbook) [教科書]

Reference) [参考資料]

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217658>

Contact)

⇒ 武田英二

⇒ 竹谷豊